

Ⅱ 算数「箱のたての長さは何 cm」（2 組）

1 学習の概要

3 年 2 組の子どもたちは、元気で明るい児童が多く、答えがはっきりしている計算問題などについては、意欲的に取り組み、挙手発言をすることができます。しかし、文章問題のような少し難しい問題に出会うとすぐに諦めてしまったり、友達が発表する答えを待つだけになってしまったりする子もいます。また、教師の話や友達の意見を聞いてじっくり考えたり、自分の考えと友達の考えを比べたり、それを絵や図や文章で表現したりすることは苦手な児童が多いと感じます。

この単元の学習内容は、同じ大きさの円が入っている箱の縦の長さの求め方を考えることです。少し複雑な問題になっており、1 人で考えるのではなく、いろいろな友達と話し合って解決していく会社タイムという話し合い活動を取り入れました。友達と考えを伝え合うことで分からないことが分かったり、新しいことに気づいたり、間違いに気づいたり学びを深めていくことができます。この学習を通して、友達と話し合って問題を解決するよさを実感してほしいと思い、取り組みました。

2 ねらい

- 箱の縦の長さを求める方法を進んで考えようとしている。
- 伝え合いを通して、長さの求め方を分かりやすく説明する方法がわかる。

3 取り組み

(1) アップル星人からの相談

3 年 2 組には、アップル星人というキャラクターがいます。授業では、よくこのアップル星人が登場し、

クラスみんなに助けを求めにきます。アップル星人を助けてあげようとどの子も一生懸命考えようとします。今回もアップル星人の登場に歓声があがりました。みんなアップル星人の相談を真剣に聞いていました。問題が少し複雑だったので、アップル星人の知りたいことは何か、分かっていることは何かを全員で確認し、問題解決への見通しをもたせました。

クッキー（円）を横に 4 こ、縦に 3 こ入れる箱がもう 1 つ欲しくて買いに来たんだ。
でも、箱の横の長さだけ測って、縦の長さを測るのを忘れちゃった。横は 16 cm だったよ。



「アップル星人からの相談」

(2) 自力解決

分かっていることを手がかりに自分なりの考えをノートに書きました。アップル星人に説明しなくてはいけないので、答えを出すだけでなく、分かりやすく説明する方法も考えさせました。どの子もアップル星人を助けてようと一生懸命ノートに自分の考えを書いていました。この時点で、多くの子が答えを導くことができていました。また、式と答えだけでなく、言葉や図を使って説明している人もいました。しかし、中には、どうしてその式になるのか、どうしてその答えが出てくるのかなどうまく説明できない子もいました。

(3) 会社タイム

① 求め方について会社で話し合う

3人グループ（会社）になり、求め方について話し合いました。そして、その説明をホワイトボードにまとめました。求め方の分からない子に教えてあげたり、もっとよい方法はないか考えたりと、3人で協力して、自分の会社の考えをホワイトボードにまとめていました。



「会社タイム」

② 出張タイム

3人のうち2人がそれぞれ別の会社に移動し、残った1人が移動してきた子に自社の考えをプレゼンしました。プレゼン者はホワイトボードを見せ、指をさしながら伝わりやすいように説明していました。出張した子たちは、他社の考えをノートにとり、疑問に思ったことを質問していました。

③ 報告タイム

自分の会社にもどり、他社の考えを報告しました。「他の会社では、図を使っていたよ。」「この文章、伝わりにくいね。」などと、この説明で本当によいのか、もっと分かりやすい方法はないのかと、他社の考えを参考に、自社の考えを再検討しました。



「報告タイム」

(4) 本時の学習の振り返り

代表2社が、全体で発表しました。どちらの会社も、図と言葉を上手に使って、分かりやすく説明することができました。最後に、今日の学習で分かったこと、友達の考えでよかったことを会社で伝え合い、学習の振り返りをしました。



4 成果と課題

「アップル星人も大満足」

いつもなら難しい文章題に出合ったら、すぐに諦めてしまう子が、会社タイムで友達と協力して、一生懸命考えていました。答えが分かった子も分からない子に教えたり、友達の考えを聞いて新しいことに気づいたりして、学びを深めていくことができました。そして何より、みんながとてもいきいきと楽しそうに活動していました。今後も研鑽を積み、子どもが自ら学ぶ姿勢を育てることができるよう努力していきたいと考えています。